

# 熊本県 教育会館ニュース

一般財団法人

発行所  
熊本市中央区九品寺1丁目11-4  
熊本県教育会館事務局  
TEL 096-372-3800  
編集・発行 今村 良博  
印刷所 ホープ印刷株式会社

## 新法人・初年度上期の事業進捗報告 「事業計画通り着実に執行中」を 理事会で確認。

(11月21日第3回理事会)

「公益法人関係3法」の施行により、当熊本県教育会館は県知事より「一般財団法人」への認可をいただき、4月1日より新法人へ移行しました。第3回理事会では、初年度上期の事業進捗について事業計画通りに執行中であることが確認されました。「教育文化事業」を中心に報告します。

教育会館主催の育児休業者のための現場復帰支援「カムバックセミナー」の開催は6回目となりました。た。風邪の流行期を避けるため11月開催としました。駐車場が確保できる会場「火の国ハイイツ」では2回

## カムバックセミナー・次第

期日：11月19日(火) 会場：熊本市・火の国ハイイツ

- ・お子様預かり 13時～
- ・開会 13時30分～

### セミナー①

演題「育児等に関する諸制度の活用について」  
講師 県教委学校人事課 (田代参事・徳川参事)

### セミナー②

演題「共済組合の事業概要と育児休業等に関する諸手続きについて」  
講師 県教委教育政策課福利厚生室 (公立学校共済組合 重松主事)

- ・質疑、ティータイム (情報交換)
- ・閉会 お子様引き取り 16時～



## パパママひろば



### パパママひろば今後の計画

開設時間 10:00～15:00

No.	開催(予定)日	企画内容
第9回	12月11日(水)	スタンプ遊び
第10回	1月8日(水)	お餅作り(おしるこ)
第11回	2月12日(水)	ベビーマッサージ
第12回	3月12日(水)	権利についての学習

育児休業の教職員のための「カムバックセミナー」を補完する場として、昨年同期から「パパママひろば」を開設しました。毎月1回県教育会館でひろばを開設し、子育て中のパパママの情報交換の場を提供しています。託児のためのスタッフを2名配置しており、毎回「ベビーマッサージ」や「バルーン遊び」などの子どものための企画を行っています。気分転換も兼ねて参加してみませんか。申込(担当：笹浪へ)

## ヒーリングセミナー

日時 8月2日(金) 10時～13時  
会場 県教育会館(講演)及び「地魚屋」(会食)  
講演 「心豊かにコミュニケーション」  
①自分を知る  
②共感に必要な4つの力  
③心の健康について  
講師 浦野エイミ先生(臨床心理士)



忙しい毎日を過ごされている教職員にゆったりとした時間や自分を見つめ直す時間を提供するために毎年1回8月に開催しています。今年も浦野エイミ先生(臨床心理士・公益社団法人くまもと被害者支援センター所長)に「こころ豊かにコミュニケーション」と題して講演をいただき、参加型のワークショップで最後まで楽しい講演会となりました。終了後場所を変えた「会食」でも、ちょっとリッチな食事をしながら楽しい会話が弾みました。来年も多くの方の参加をお待ちします。

●かるた・将棋 日本の伝統文化の振興のため、県かるた協会・日本将棋連盟熊本県支部が行う大会や練習会として年間約30回会場を無償提供しています。2月には「小中学校小倉百人一首競技大会」を県教育委員会や熊本県教育委員会、熊日、熊本放送と共に後援します。県下各地の小中学生が教育会館に集い、熱気あふれる競技大会が開催されます。(募集要項は2ページに掲載)

●教育相談 子どもの電話相談活動を行っているNPO法人ハートライオン社。また教職員支援した。また教職員対象の電話相談室「レモングラス」を毎週火曜日19時～22時に開設しています。(電話096-137213810)

- アートひろば 企画展
- 第7期(平成24年10月～25年5月)  
・4月期は、岡田 繁忠氏(熊本市)の油彩画展  
・5月期は、村田紀美子氏(熊本市)の水彩画展
- 第8期(平成25年10月～26年5月)  
・10月期は、徳永 喜美氏(熊本市)の水墨画展  
・11月期は、小島憲二郎氏(水俣市)の日本画展  
・12月期は、平岡 博幸氏(宇城市)の洋画展  
・1月期は、村中 妙子氏(熊本市)の洋画展  
・2月期は、三浦 和昭氏(美里町)の洋画展  
・3月期は、長嶋 康雄氏(熊本市)の洋画展  
・4月期は、山下多恵子氏(天草市)の洋画展  
・5月期は、古賀 義文氏(南関町)の水彩画展



10月から第8期の企画展がスタートしました。来年5月までの出品(予定)者は左記の通りです。

# 『第26回熊本県小中学校 小倉百人一首かるた競技大会』の ご案内



**主催** 熊本県かるた協会  
**後援** 熊本県教育委員会 熊本市教育委員会  
 熊本県教育会館 熊本日日新聞 熊本放送

**期日** 平成26年2月23日(日)  
 ・9時受付 ・9時半開会(午後4時終了予定)

**会場** 熊本県教育会館5階ホール  
 熊本市中央区九品寺1-11-4  
 (TEL096-372-3800)

**対象** 県内小中学生

**試合形式** ①3人1組による源平戦(選手3名 補欠2名)  
 ②参加チーム数により、トーナメントかリーグ戦  
 ※詳細は熊本県かるた協会ホームページに掲載

**参加区分** 中学校の部  
 小学校の部(上級・中級・初級の部)

(1) 上級: 全国大会個人戦E級入賞者、  
 D級以上の出場者のいるチームや3人とも  
 百首覚えているチーム

(2) 中級: 1人又は2人百首覚えているチーム

(3) 初級: 3人とも百首覚えていないチーム

**表彰** 優勝、準優勝、3位(チーム)

**参加料** 無料

**申込要領** 平成26年2月14日(金)までに、「出場の部、  
 学校名、チーム名、代表者氏名、連絡先 TEL、  
 選手氏名、全国大会個人戦参加の経験、段位」  
 を下記宛先へ、ファックスかメールでお送り下  
 さい。  
 ※各校2チームまで 参加申込多数の場合は抽選  
 ※児童・生徒だけの参加はご遠慮ください

## 申し込み・問い合わせ先

**高橋 章夫**

〒862-0924 熊本市中央区帯山5-7-13  
 TEL 090-5475-6628  
 Eメール: takahasi@mxt.mesh.ne.jp

# 教育会館・学校寄席

## 学校寄席…大好評

### 今年も3校で開催

『教育会館・寄席』の開催は今年で5年目。「学校寄席」は4年目となり、今年も3校で開催しました。学校の協力で、今年もたいへん充実した会館寄席となりました。また保護者や地域の方の聴衆も多く、学校と地域の連帯の一助になったのではないかと感じます。

以下は、3校の学校の代表者と出演者及び会館スタッフでの反省会での発言の一部ですが、教育会館の学校寄席の目的がよく表れていると思います。

●小規模校であり地域の大きな行事になった。保育園児から地域のお年寄りまで楽しめた。

●子どもたちの反応はとてよも良かった。読書量によって落語の笑うつばが違っていた。

●他の行事があり教職員全員が聞けなかったとできず、残念だったという声があがっていた。

●大規模校などは、低学年と高学年の2回公演でもいいのでは。

●1日1公演に限定しなくてもいいし、開始時間も学校の都合で多少は融通が利きます。

●準備をしっかりしていただいて、本番はすつと入れた。打ち合わせのときから協力的にしていたら良かった。

## 来年度の募集

「学校寄席」は来年度も11月26日(水)〜28日(金)に開催予定です。希望される学校は、早めに計画を立て、申し込まれるようお願いいたします。「募集要項」は、1月になりましたら「教育会館ホームページ」に掲載します。なお「会館共済第30次記念」として、「会館ホール寄席」を11月29日(土)に開催予定です。



10月23日(水)	10月23日(水)	10月22日(火)
上天草市立龍ヶ岳中学校	芦北町立吉尾小学校	嘉島町立嘉島西小学校
生徒 75名	児童 9名	児童 175名
教職員 10名	教職員 6名	教職員 12名
地域保護者 15名	地域保護者 60名	地域保護者 3名

## 学校寄席・次第

打合せ・準備 11時〜13時  
 開会行事 14時〜

公演 ①寄席囃子の実演(左龍・喬之助・仙三・太田その)  
 ②落語「子ほめ」又は「初天神」(柳家喬之助)  
 ③太神楽(鏡味仙三)  
 ④落語「牛ほめ」又は「転失気」(柳亭左龍)

閉会行事 ~15時30分

## 図書寄贈

教育会館設立25周年を記念して始めた図書券の寄贈を継続しました。今年度も7・8月に寄贈校25校全てを訪問して寄贈しました。これまでの25年間で、県内延べ531校(小中学校443校、内重点校30校、県立学校88校、内重点校15校)に2,880万円、東北大地震被災校128校に3,000万円、寄贈総額は3,180万円となりました。平成25年度の寄贈校は下記のとおりです。(○は読書重点校1年目、◎は2年目)



玉東中学校



七滝中央小学校

- 〔荒玉〕 玉東中、鹿北中
- 〔山鹿〕 千田小、鹿北中
- 〔菊池〕 泗水中
- ◎西合志東小
- 〔阿蘇〕 りんどうヶ丘小
- 〔熊本〕 内牧小
- 奥古閑小
- 潤徳小
- 中島小
- 七滝中央小
- 〔上益城〕 七滝中央小

## 〔声〕寄贈校から

拝啓 中略



砥用小学校



菊地農業高校

- 〔宇城〕 砥用小
- 〔八代〕 東陽小、八竜小
- 〔人球〕 五木東小
- 〔永言〕 緑東中
- 〔天草〕 本渡東小
- 〔県立〕 牛深東中
- 鹿本農工
- 鹿池農業
- 小川工業
- 熊本農業
- 南農高
- ◎鹿本農業

小川工業校長 菅田雅之

読書教育につきましては、本校においても朝の読書の実施など力を入れておりますが、子どもたちを取り巻く情報メディアの変化の中で、その重要性は年々高まってきております。ご寄贈いただきました図書費は、生徒たちの成長に寄り添い、学習や読書活動に役立つ書籍等の購入に充てさせていただきます。



「地域指定  
一時避難場所」の取組

豪雨では、教育会館がある熊本市の九品寺界隈でも浸水等の被害が発生しました。そのときの教訓から白川校区5・7町内と「災害等発生時の一時避難場所の提供に関する協定」を取り交わしました。昨年11月に引き続き5月30日に第2回目の合同避難訓練を実施しました。「①地域住民の防災意識を高めること②会館の受入態勢の充実」が課題です。



備蓄品

飲料水	ペットボトル(水、お茶、スポーツドリンク)
食料	レトルトご飯、スープ、ふりかけ、缶詰、カップめん、菓子
食器	紙皿、紙コップ、はし、スプーン、ラップ、ホイル、他
調理器具	コンロ、鍋
衛生・日用品	消毒液、マスク、カイロ、タオル、ふきん、ティッシュ
寝具	寝袋、マット、毛布
照明	懐中電灯、ランタン
連絡関係	ラジオ、テレビ、携帯電話(各自)
記録簿・筆記具	記録簿、連絡網、筆記具
その他	車いす、担架

平成25年度  
上半期事業報告

1. 財政運営

(1) 会館の基本資金である会館建設基金(出資金)については、出資依頼を中止しています。そのため、新たな出資者はありませんでした。

出資金の返済は、退職による返済が380人(小中定年153人、若年107人、県立定年99人、若年21人)、4,050,000円でした。この結果出資金の残額は95,945,000円となりました。

平成24年度末の若年退職者は、164名(小中122名、県立42名)と大幅に増えています。定年退職者297名(小中175名、県立122名)と若年退職者を合わせた総数は、461名(小中297名、県立164名)でした。

(2) 地代家賃は、100%納入されています。

(3) 会議室賃料は、ほぼ前年並みで推移しています。

会館共済キャンペーンの推進本部としての会議室使用(年間約10日)や、県かるた協会に加え日本将棋連盟熊本県支部の練習会や大会等への会場無償提供(年間約30日)、地域住民対

象の「ヨガ教室」の開催(月2回)などは賃料減の原因です。

(4) 会館共済事業の集金手数料は約1,500万円(年間約3,000万円)と安定しています。また教育会館の特別給付金は申請期間を3年間に延長しましたが、年間給付額が1,400万円前後で安定しています。

(5) 会館経営の安定化のための各種引当を行います。退職給与引当以外は、経営状況を勘案して年度末に引当します。

(6) 会計処理は「区分経理」により「実施事業(公益目的継続事業)」の適正な執行が必要です。そのため、ユース会計社(吉永公認会計士事務所)との契約を継続し、適正な処理と円滑な執行に努めています。

また会員管理や収納方法の合理化について、コープ熊本学校生協と県教職員組合、教育会館の3者で協議を進めていましたが、10月1日「熊本県教職員厚生情報センター」(主に小中学校関係教職員を対象)を設立しました。そのため、下期より会館経理の区分に「事務受託事業」を起しました。センターの稼働は年度末の予定ですが、本年度は準備のための補正予算(第4号議案で提案)を組

み対応します。「事務受託事業」は収益事業ですので、次年度から収支が取れるように事務事業の受託条件を整備しなければなりません。



2. 管理業務

(1) 夜間や休日の管理警備は、2名の職員が交替制で勤務し、会館を常時使用できるようにしています。昨年6月より1名病欠(3月末退職)のため、臨時の態勢で対応してきました。現在3名の交代制により、安定した管理警備ができています。

会館閉鎖は12月29日から1月3日までの6日間です。

(2) 安全管理及び設備の保守については、保守契約を結び管理しています。

(3) 災害の未然防止と万一の災害に備えるため、4月18日防火対策委員会を開催し防火管理組織・自衛消防組織を編成するとともに、防災年間計画を策定・確認しました。

第1回目の避難訓練は、5月30日に「白川校区5・7町内と合同避難訓練」として実施しました。これは昨年7月12日の九州北部豪雨により九品寺界隈も浸水被害が発生したため、教育会館を地域の一時避難場所に指定するための訓練で、今回2回目でした。会館としては「一時避難場所としての受け入れ態勢の確立」が目的ですが、地域住民の自主・自立的防災体制につながるよう訓練を継続しなければなりません。

また専門業者(ユージー防災設備)による消防設備の点検を9月27日実施しました。次回は3月の予定です。

(4) 建物の保守関係では、1階トイレ下ピットに大雨の時漏水が続いています。原因がはつきりしないため、当面は毎月の点検とポンプによる汲み出しで対応します。立体駐車場の2階鉄板固定金具の緩みは、7月にボルトの交換とボルトとナットの溶接固定工事を行いました。しかし工事後にも金具の弛みや落下が発生したため、11月下旬に2次工事を行います。原因は振動により金具がずれて金具が落下すると考えられるため、金具と梁を溶接固定します。また毎年点検を実施することにします。

「大規模改修検討委員

会」は、年内に設置する予定です。

(5) 「教育会館ニュース」を7月発行し、会館の事業等の広報に努めました。また、ホームページを活用してタイムリーな情報の開示と発信に努めました。

3. 福祉共済事業

(1) 会館共済I型「遺族生活給付金共済」「医療プラン」「介護プラン」

発足29年目を迎えた会館共済は、新規加入者が423名(本人279名)で加入者総数が11,457名となりました。前年より599名(本人247名)の減でした。「遺族生活給付金共済(生命保障)」に付加する「医療プラン」は、189名(本人123名)減の5,558名となりました。

導入して3年目の「介護プラン」は、昨年2,498名から573名増の3,071名となりました。加入者の死亡に伴う遺族生活給付金については、平成24共済年度(平成24年9月1日～平成25年8月31日)は、死亡12人(前年度19人)で給付総額は1億3,500万円(同2億600万円)でした。また、医療プランの入院給付金は182件(同193件)で給付総額は1,

688万2千円(同1, 729万7千円)でした。死亡給付金は給付額が1億5千万円を下回ったので、剰余金の平均配当は約50パーセントでした。

会館の特別給付金は申請期間を3年間に延長して4年目となりましたが、給付総額は年間約1,400万円前後で安定しています。また非常準備基金として4,800万円引き当てています。今年上期の給付件数及び給付額は共に減少しています。

(2) 会館共済II型(貯蓄型生涯保障共済)

新規加入者は10名、退職等により59名の減で加入者総数は861名(前年度910名)になりました。漸減状況が続いています。

(3) 傷害プラン

第22次より導入した「傷害プラン」の新規加入者はありませんでしたので、加入者総数は127名(前年度135名)となりました。100名を下回ると保険料テーブルがアップし、掛金変更を余儀なくされます。制度の見直しを含め対応が必要となります。

(4) 会館共済特別給付金の申請に対しては、給付の適正迅速化を図るために、給付審査委員会を毎月2回開催し、半月毎に審査・給付の体制をとっています。

(5) 共済事業の制度や運営のあり方等については、制度検討委員会での検討を行っています。「1日入院給付制度」「出産祝金の男性加入者への給付」「定年延長に伴う加入要件の整備」等について、第30次保障内容の確定時期の年末をめどに判断する予定です。

### 4. 教育文化事業

(1) 教育会館設立25周年を記念して始めた図書券の寄贈を継続しました。今年度も7・8月に寄贈校25校全てを訪問して寄贈しました。これまでの25年間で、県内延べ531校(小中学校443校、内重点校30校、県立学校88校、内重点校15校)に2,880万円、東北大震災被災校128校に300万円、寄贈総額は3,180万円となりました。

(2) 教育会館寄席

「会館共済第25次キャンペーン企画」として行った教育会館寄席は、学校の児童生徒に対して是非行ってほしいという声から「学校寄席」を開催して4年目になりました。「会館ニュース」や「ホームページ」にて公募し、今年は3校で開催しました。24日の最終日に、開催校3校の代表者と師匠はじめ出演者と会館スタッフとの反省会を開催し、教育会館が目指す「学

校寄席」について意見交換を行いました。

《開催期日と開催校》

- ・10月22日(火) 嘉島町立嘉島西小学校
- ・10月23日(水) 芦北町立吉尾小学校
- ・10月24日(木) 上天草市立龍ヶ岳中学校

(3) 熊本県かるた協会及び日本将棋連盟熊本県支部との共催事業

日本の伝統文化や芸能の振興を図るため、熊本県かるた協会及び日本将棋連盟熊本県支部の事業を支援し、月1回の練習会や大会等に会場を無料で提供しています。

2月23日(日)には熊本県かるた協会主催の「第26回熊本県小中学校小倉百人一首かるた競技大会」が開催の予定です。教育会館は、県教育委員会等と共に後援します。

(4) アートのひろば

会館新築移転10周年を記念して、平成18年8月より「教育会館アートのひろば」を開催しています。熊本の教育に関係深い方の作品を、教育会館玄関ホールに展示しています。

(5) その他の教育文化事業として、メンタルヘルス「こころゆったりヒーリングセミナー」を8月2日(金)に教育会館で開催し、公益社団法人くまもと被害者支

援センター所長浦野エイミ先生に「こころ豊かにコミュニケーション」と題してご講演をいただきました。「①自分を知る、②共感に必要な4つの力、③心の健康」についてワークショップを通して自分を見つめ直すものでした。セミナーの後は、会食で楽しい会話とゆつくりした時間を過ごしてもらいました。参加者は18名でした。

育児休業者現場復帰支援「カムバックセミナー」は11月19日(火)に火の国ハイイツで開催しました。県教育委員会学校人事課と教育政策課福利厚生室から、「育児等に関する諸制度の活用について」や「現場復帰に伴う諸手続きについて」ご講演をいただきました。申し込みは57名で、託児は57名です。(当日欠席2名、託児4名)

また、18歳までの子どもの電話相談活動を行っているNPO法人「ハートラインくまもと」を支援するとともに、教職員向けの電話相談室「レモンガラス」を毎週火曜日に開設しました。



おかげさまで**30周年** 皆さんの優しい気持ちから生まれた**会館共済** は来年度30周年を迎えます! 会館共済は先生方の助け合いの制度です。

## 感謝の思いを込めて ～第30次記念キャンペーン～ を行います

来年も5月～6月に学校に伺います。よろしくお願ひします。

- ① 皆様のニーズに応える「共済制度の見直し」
- ② 30周年記念品贈呈
- ③ 意見募集 テーマ「わたしと会館共済」
- ④ 記念抽選会
- ⑤ 記念行事：会館ホール寄席

平成26年11月29日(土) 国際交流会館にて開催予定

◎詳しい内容等につきましては、26年4月発行予定の「会館ニュース 会館共済30周年記念号」に掲載予定です。また情報は随時「教育会館ホームページ」に載せていきます。



企画  
中  
です!